

21. キミコ方式あるいは野口体操の演習に参加した体験や、精神療法・芸術療法についての講義を手がかりに、芸術活動やボディワークの意義について、人間の自由や創造性と精神の健康や心の機能との関連という視点から論じて下さい。

22. 国際生活機能分類 (ICF) の考え方を参考にしながら、看護師は、どのような点を重視しながら、精神障害者のリハビリテーションを支援すべきかについて述べて下さい。

23. 看護学の視点から、精神医学や心理学の知識や考え方を精神科看護の実践に生かすうえで、留意すべき点について、具体例を挙げて述べて下さい。

24. 攻撃的な言動を示す精神疾患患者に対して、看護師は、どのように理解し、どのように関わるのが望ましいかについて、できるだけ多角的な視点から述べて下さい。

*平成21年度の問題は10. 11. 25を除いて平成19、20年度と同じでした。異なる問題のみ載せます。

10. てんかんの症状と治療法^にについて、正しいものを2つ選んで下さい。

- a)若年期に発症し、特定の外的要因が認められないてんかんは、症候性と分類される。
- b)単純部分発作は意識障害を伴わない。
- c)欠伸発作 (小発作) は、子供に見られる1分程度の意識消失発作である。
- d)症候性全般てんかんは多くの場合に寛解する。
- e)抗てんかん薬は神経系の過剰抑制ないし過剰興奮の緩和を目的としている。

11. てんかんの大発作への対処法や、てんかん看護で誤っているものを2つ選んで下さい。

- a)舌をかむことによる窒息を防ぐため、口腔内にタオルなどを入れる。
- b)嘔吐による誤嚥や窒息を防ぐため、ゆっくり仰臥位にさせる。
- c)卒倒や転倒による外傷を防ぐため、日頃から環境の整備に留意する。
- d)発作の誘因となる過労や睡眠不足などを避けるように指導する。
- e)抗てんかん薬のフェニトインを服用している患者には、口腔保健の指導が重要である。

25. 家族や友人など身近な人が、うつや認知症の症状に苦しんでいる場合、どのような関わりが望ましいかについて、具体的な事例を想定したうえで述べて下さい。